

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2007-149221(P2007-149221A)

【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2005-342225(P2005-342225)

【国際特許分類】

G 11 B 7/004 (2006.01)

G 11 B 7/0045 (2006.01)

【F I】

G 11 B 7/004 C

G 11 B 7/0045 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月25日(2008.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の記録媒体に記録された情報データを再生する再生手段と、

第2の記録媒体に対して情報データを記録する記録手段と、

前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であるか否かを判別する判別手段と、

前記第1の記録媒体より再生された情報データを前記第2の記録媒体に記録するダビング動作中において、電源オフの指示があると、前記判別手段の判別結果に基づいて前記ダビング動作を継続するか否かを制御する制御手段とを備える記録再生装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であった場合には前記ダビング動作を継続し、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体でなかった場合には前記ダビング動作を中止して電源オフの処理を行うことを特徴とする請求項1記載の記録再生装置。

【請求項3】

前記制御手段は、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であった場合、前記ダビング動作中に前記電源オフの指示があると前記ダビング動作を継続するか否かを選択するための選択画面を表示装置に表示し、前記表示の結果前記ダビング動作の継続が選択された場合には前記ダビング動作を継続し、前記ダビング動作の中止が選択された場合には前記ダビング動作を中止して電源オフの処理を行うことを特徴とする請求項1記載の記録再生装置。

【請求項4】

第1の記録媒体に対して情報データを記録再生する記録再生手段と、

第2の記録媒体に対して情報データを記録する記録手段と、

前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であるか否かを判別する判別手段と、

前記第1の記録媒体より再生された情報データを前記第2の記録媒体に記録するダビング動作中において、前記前記第1の記録媒体に対して情報データを記録するためのモードへの切り替え指示があると、前記判別手段の判別結果に基づいて前記ダビング動作を継続するか否かを制御する制御手段とを備える記録再生装置。

【請求項5】

前記制御手段は、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であった場合には前記ダビング動作を継続し、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体でなかった場合には前記ダビング動作を中止してモード切り替え処理を行うことを特徴とする請求項4記載の記録再生装置。

【請求項6】

前記制御手段は、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であった場合、前記ダビング動作中に前記モード切り替えの指示があると前記ダビング動作を継続するか否かを選択するための選択画面を表示装置に表示し、前記表示の結果前記ダビング動作の継続が選択された場合には前記ダビング動作を継続し、前記ダビング動作の中止が選択された場合には前記ダビング動作を中止してモード切り替え処理を行うことを特徴とする請求項4記載の記録再生装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】記録再生装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は記録再生装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、第1の記録媒体に記録された情報データを再生する再生手段と、第2の記録媒体に対して情報データを記録する記録手段と、前記第2の記録媒体が追記型の記録媒体であるか否かを判別する判別手段と、前記第1の記録媒体より再生された情報データを前記第2の記録媒体に記録するダビング動作中において、電源オフの指示があると、前記判別手段の判別結果に基づいて前記ダビング動作を継続するか否かを制御する制御手段とを備える。